



No.	作者	作品名	制作年代	品質形状	所蔵
24	月岡芳年	猫鼠合戦 犬張子・鼠おとし	安政6年(1859)	中判錦絵二丁掛 一枚	個人
25	歌川広重	猫の鯉節渡り 釣狐	天保13年(1842)頃	中判錦絵二丁掛 一枚	個人
26	二代歌川広重	いさましき虎の世渡り	万延元年(1860)	大判錦絵 一枚	個人
27	歌川国芳	駒くらべ盤上太平棋	天保14年(1843)	大判錦絵三枚続 一組	名古屋博物館 (高木繁コレクション)
28	河鍋暁斎	狂斎百狂 どふけ百万編	元治元年(1864)	大判錦絵三枚続 一組	名古屋博物館
29	昇斎一景	開化因循興発鏡	明治6年(1873)	大判錦絵三枚続 一組	名古屋博物館 (中村新三コレクション)
30	四代歌川国政	兎の踊り	明治6年(1873)	大判錦絵二枚続 一組	名古屋博物館
31	未詳	鯨大尽の遊び	安政2年(1855)	大判錦絵 一枚	たばこと塩の博物館
32	未詳	大なまづねこのたハむれ	明治(19世紀後半)	大判錦絵 一枚	個人
33	歌川芳豊か	飲食養生鑑	安政年間(1854~60)頃	大倍判錦絵 一枚	たばこと塩の博物館
34	歌川芳豊か	房事養生鑑	安政年間(1854~60)頃	大倍判錦絵 一枚	たばこと塩の博物館
35	月岡芳年	教訓善悪図解 家を大切にする息子 家蔵を失ふ息子	明治13年(1880)	中判錦絵二丁掛 一枚	名古屋博物館
36	望斎秀月	新板ねこの温泉	明治18年(1885)	大判錦絵 一枚	個人
37	歌川国芳	玉取り	弘化3~嘉永元年(1846~48)	大判錦絵三枚続 一組	名古屋博物館
38	歌川国芳	龍宮玉取姫之図	嘉永6年(1853)	大判錦絵三枚続 一組	名古屋博物館 (高木繁コレクション)
39	歌川国芳	龍宮城 田原藤太秀郷に三種の土産を贈	安政5年(1858)、 制作は嘉永6年(1853)頃	大判錦絵三枚続 一組	名古屋博物館 (高木繁コレクション)
◎ 40	未詳	百鬼夜行絵巻	江戸時代前期(17世紀後半)	紙本着色金泥 一巻	個人
◎ 41	未詳	化け猫草子絵巻	江戸時代中期 (17世紀後半~18世紀前半)	紙本着色 一巻	個人
42	歌川国芳	日本駄右工門猫之古事	弘化4年(1847)	大判錦絵三枚続 一組	名古屋博物館 (高木繁コレクション)
43	歌川国貞(三代豊国)	東海道五十三次之内 白須賀 猫塚	嘉永5年(1852)	大判錦絵 一枚	名古屋博物館 (尾崎久弥コレクション)
44	山東京伝作・歌川豊国画	『腹筋逢夢石』初編	文化7年(1810)刊	紙本墨摺 一冊	名古屋市蓬左文庫 (尾崎久弥コレクション)
45	東西庵南北作・二代北尾重政画	『身振いろは芸』初編・二編	文化8年(1811)刊、 文政12年(1829)再版	紙本墨摺 二冊	名古屋市蓬左文庫 (尾崎久弥コレクション)
第3章 おこまものがたり					
46	楽亭西馬作・歌川貞秀画	『寿狐の嫁入』	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨摺 一冊	名古屋市蓬左文庫
47	浮田一蕙	狐嫁入図	嘉永2年(1849)	絹本着色 一幅	名古屋博物館
48	高力猿猴庵著画、小田切春江転写	むさんど 狐の嫁入 『御嶽祭真景図略』巻一	文政10年(1827)頃、 文政11年転写	紙本着色 一冊	名古屋博物館
49	南仙笑楚満人作・鳥居清峰画	『猫のそふし』	文化3年(1806)刊	紙本墨摺 一冊	個人
50	山東京山作・歌川国芳画	『朧月猫の草紙』	天保13~嘉永2年 (1842-49)刊	紙本墨摺 十七冊六枚	個人
51	歌川国芳	忠孝加々見山	弘化4年(1847)	大判錦絵三枚続 一組	個人
52	山東京山作・歌川国芳画	『朧月猫の草紙』六編	嘉永元年(1848)刊	紙本墨摺 二冊	個人
53	歌川国芳	流行猫の戯 かすみやな 草履恥の段	弘化4年(1847)頃	大判錦絵 一枚	個人
54	仮名垣魯文作・歌川芳虎画	『花裘狐草紙』初編・二編	文久2年(1862)刊	紙本墨摺 四冊	名古屋市蓬左文庫 (尾崎久弥コレクション)
55	仮名垣魯文作・歌川芳虎、 落合芳幾、月岡芳年画	『黄金花猫目鬚』	文久3~明治元年 (1863~68)刊	紙本墨摺 十七冊七枚	個人
56	高島藍泉(三代柳亭種彦)作・ 望斎秀月画	『春色黄金花』	明治17年(1884)刊	紙本活版刷 一冊	個人
57	歌川芳藤	しん板猫のよめ入	明治16年(1883)	大判錦絵 一枚	個人
58	歌川国利	しん板猫のはなし	明治(19世紀後半)	大判錦絵 一枚	個人
59	歌川国利	流行ねこの温泉	明治14年(1881)	大判錦絵 一枚	個人
60	歌川芳藤	新板猫の温泉	明治21年(1888)	大判錦絵 一枚	個人
61	小林幾英	新板猫の勉強学校	明治20年(1887)	大判錦絵 一枚	個人

No.	作者	作品名	制作年代	品質形状	所蔵
62	作者未詳	しん板猫の小学校	明治(19世紀後半)	大判錦絵 一枚	個人
63	未詳	大新板猫のいしよう付	明治(19世紀後半)	大短冊判錦絵 一枚	個人
64	歌川竹子	猫の踊り	明治13年(1880)	大判錦絵 一枚	個人
65	歌川芳藤	しん板どうけかつらつけ	明治(19世紀後半)	大判錦絵 一枚	個人
66	芦原国直	新板猫相撲づくし	明治18年(1885)	大判錦絵 一枚	個人
67	四代歌川国政	新板猫の花見	明治11年(1878)	大判錦絵 一枚	個人
68	小林幾英	猫の運動尽	明治20年(1887)	大判錦絵 一枚	個人
69	小林幾英	新板階のりのづ	明治17年(1884)	大判錦絵 一枚	個人
70	歌川国利	新板猫の料理茶や 但し山下のかんなべ	明治16年(1883)	大判錦絵 一枚	個人
71	未詳	新板猫の海水浴行	明治32年(1899)	大判錦絵 一枚	個人
72	歌川国芳	八代目市川團十郎死絵	嘉永7年(1854)	大判錦絵 一枚	名古屋博物館 (尾崎久弥コレクション)
73	歌川国貞(三代豊国)	美人合 春曙	文政年間(1818~30)後期	大判錦絵 一枚	個人
74	月岡芳年	風俗三十二相 うるささう 寛政年間処女の風俗	明治21年(1888)	大判錦絵 一枚	名古屋博物館
75	歌川国芳	初雪の戯遊	弘化4~嘉永元年(1847~48)	大判錦絵三枚続 一組	名古屋博物館 (高木繁コレクション)
76	月岡芳年	見立多以尽 とりけしたい	明治11年(1878)	大判錦絵 一枚	名古屋博物館 (尾崎久弥コレクション)
77	歌川広重	名所江戸百景 浅草田甫西の町詣	安政4年(1857)	大判錦絵 一枚	個人
78	歌川国芳	三ツの猿夜の賑ひ	弘化4~嘉永3年(1847~50)	大判三枚続 一組	名古屋博物館 (高木繁コレクション)

#### 第4章 人、猫になる

79	歌川国芳	猫の百面相 荒獅子男之助ほか	天保12年(1841)頃	団扇絵 一枚	個人
80	歌川国芳	四代目中村歌右衛門死絵	嘉永5年(1852)	大判錦絵 一枚	名古屋博物館 (尾崎久弥コレクション)
81	歌川国芳	猫の百面相 忠臣蔵	天保12年(1841)頃	団扇絵 一枚	個人
82	歌川国芳	乱朝恋山崎 上の巻 坂東しうかのあづま 十二代目 市村羽左衛門の与五郎 二代目市川九蔵のあわしま庄太夫	天保12年(1841)	大判錦絵三枚続 一組	個人
83	歌川国芳	十二代目市村羽左衛門の与五郎 二代目市川九蔵のあわしま庄太夫	天保12年(1841)	大判錦絵二枚続 一組	個人
84	歌川豊国画	『劇場役者似顔画早稽古』	文化14年(1817)序	紙本色摺 一冊	名古屋市蓬左文庫 (尾崎久弥コレクション)
85	歌川国芳	荷宝蔵壁のむだ書 月もといなばの助 ほか	弘化4年(1847)頃	大判錦絵 一枚	個人
86	歌川国芳	荷宝蔵壁のむだ さやあて ほか	嘉永元年(1848)頃	大判錦絵 一枚	名古屋博物館
87	歌川国芳	猫のおどり	天保12年(1841)頃	団扇絵 一枚	個人
88	歌川国芳	鏡見山	天保13年(1842)頃	団扇絵 一枚	個人
89	歌川国芳	流行猫の戯 おしゆん伝兵衛 身の臭姪色時	弘化4年(1847)頃	大判錦絵 一枚	名古屋博物館
90	歌川国芳	流行猫の戯 袂糞気罵責段	弘化4年(1847)頃	大判錦絵 一枚	名古屋博物館
91	歌川国芳	つくものけん	弘化4年(1847)	大判錦絵 一枚	名古屋博物館 (高木繁コレクション)
92	歌川国芳	亀喜妙々	嘉永元年(1848)頃	大判錦絵三枚続 一組	名古屋博物館 (高木繁コレクション)
93	歌川国芳	流行達都給希代稀物	嘉永元年(1848)頃	大判錦絵三枚続 一組	名古屋博物館 (高木繁コレクション)
94	歌川国芳	浮世又平名画奇特	嘉永6年(1853)	大判錦絵二枚続 一組	名古屋博物館 (高木繁コレクション)
95	歌川芳藤	猫三びきの唄	嘉永2年(1849)	大判錦絵 一枚	個人
96	落合芳幾	虎の豹畜 戯遊鈴ヶ森	万延元年(1860)	大判錦絵二枚続 一組	個人
97	落合芳幾	手習鑑虎小家の段	万延元年(1860)	大判錦絵 一枚	個人
98	落合芳幾	与ハなさけ浮名の横ぐし	万延元年(1860)	大判錦絵 一枚	個人
99	落合芳幾	当世見立忠臣蔵	万延元年(1860)	大判錦絵 一枚	個人